

- 伊達市では、近年木材普及の低迷や、少子・高齢化等による林業労働力の減少等から、適正な管理がなされていない森林が増加してきている。このような状況を打開し、林業の活性化を図るために、森林環境譲与税の一部を活用し、令和5年度において以下の取り組みを実施した。
- ・今後、森林資源を有効に活用するため民有林（人工林）において森林管理に関する意向調査を実施した。
- ・森林公園内及び施設周辺森林における森林環境景観整備を実施した。
- ・森林整備及び促進に必要な事業に要する経費の財源に充当するため、森林環境譲与税を基金として積立てた。

## □ 事業内容

### 森林経営管理法に基づく意向調査業務

- ・ 伊達市森林整備計画等の資料を収集し対象地区森林所有者に対して意向調査（地区別調査）を実施
- ・ 不在村森林所有者の有無等について調査し、対象地区の森林情報の確認、取りまとめを実施

【事業費】 2,209千円（うち譲与税2,209千円）

【実績】 伊達市内（霊山町石田地区ほか）

### 森林公園等環境整備事業

- ・ 森林公園内キャンプ場、見晴台等施設周辺森林の環境景観整備

【事業費】 4,782千円（うち譲与税4,782千円）

【実績】 赤坂の里森林公園森林環境整備業務 他5件

### 林業体験プログラム実施業務

- ・ 親子林業体験会を実施

【事業費】 1,309千円（うち譲与税1,309千円）

【実績】 赤坂の里森林公園内（親子7組参加）

### 伊達市森林環境譲与税基金条例に基づく基金事業

- ・ 森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充当するため基金として積立

## □ 工夫・留意した点

- ・ 意向調査を実施するために、随意契約として、森林整備、伐採施業履歴を管理しその森林情報を活用している業者を選定し、業務の適正化、円滑化を図った。
- ・ 林業体験プログラム実施業務では、市内の親子を対象に体験型イベントにより林業に関心を持つよう工夫した。

## □ 取組の効果

- ・ 森林経営管理法に基づく意向調査の実施により、森林管理の経過、現状の把握、森林所有者の森林管理に関する今後の意向、森林経営管理権の集積に係る可能性等が明確になった。

## ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：21,296千円	②私有林人工林面積（※1）：3,192ha	
③林野率（※1）：49.9%	④人口（※2）：58,240人	⑤林業就業者数（※2）：39人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より